2017 年 2 月 21 日

高等教育キーパースン各位

地域科学 KKJ セミナーニュース 446
大学研究力の強化方策とその展開
～科研費改革／共同・受託研究推進／クラウドファンディング等～
ご参画・ご派遣のお願い

「第５期科学技術基本計画」が本年度からスタートしており、５年間で約 26 兆円、１年間で５兆 2000 億円の科学技術イノベーション分野への投資となります。国・公・私立大学の研究部門は、もっと貪欲に国の委託研究・公募型研究の獲得にアプローチすべきであり、間接経費３割は研究機関としての拡充に資することとなります。

また、2025 年度までに大学・国立研究開発法人への企業の投資額を、ＯＥＣＤ諸国平均の水準を超える、現在の３倍の約 3,500 億円とする政府目標が設定されております。産学官連携の深化に向け、「共同研究ガイドライン」が経産省・文科省で策定されました。

研究者が大学と企業の両方に籍を置く、「クロスアポイントメント（相互雇用）」制度の導入など、オープンイノベーションの体制づくり・マネジメント強化が急務となっております。

本セミナーでは、家泰弘氏（学術振興会）に学術研究システム改革動向やファンディングの課題、科研費改革 2018 について基調講演をいただき、飯田香緒里氏（東京医科歯科大）からは、共同研究強化ガイドラインのポイントやリスクマネジメント、同大学の産学連携強化の取組みについて論展いただきます。共同研究費受入額伸び率が２年連続全国一位の山形大学からは大場好弘氏に産学官金連携の推進体制とその実績について、徳島大学の佐野正孝氏からはクラウドファンディングによる研究資金調達の組織・サイト運営の実際についてご報告いただきます。

ご多用の折とは存じますが、貴学のキーパースン各位に、ぜひともこの機会にご参画・ご派遣を賜りますよう、お願い申し上げます。